

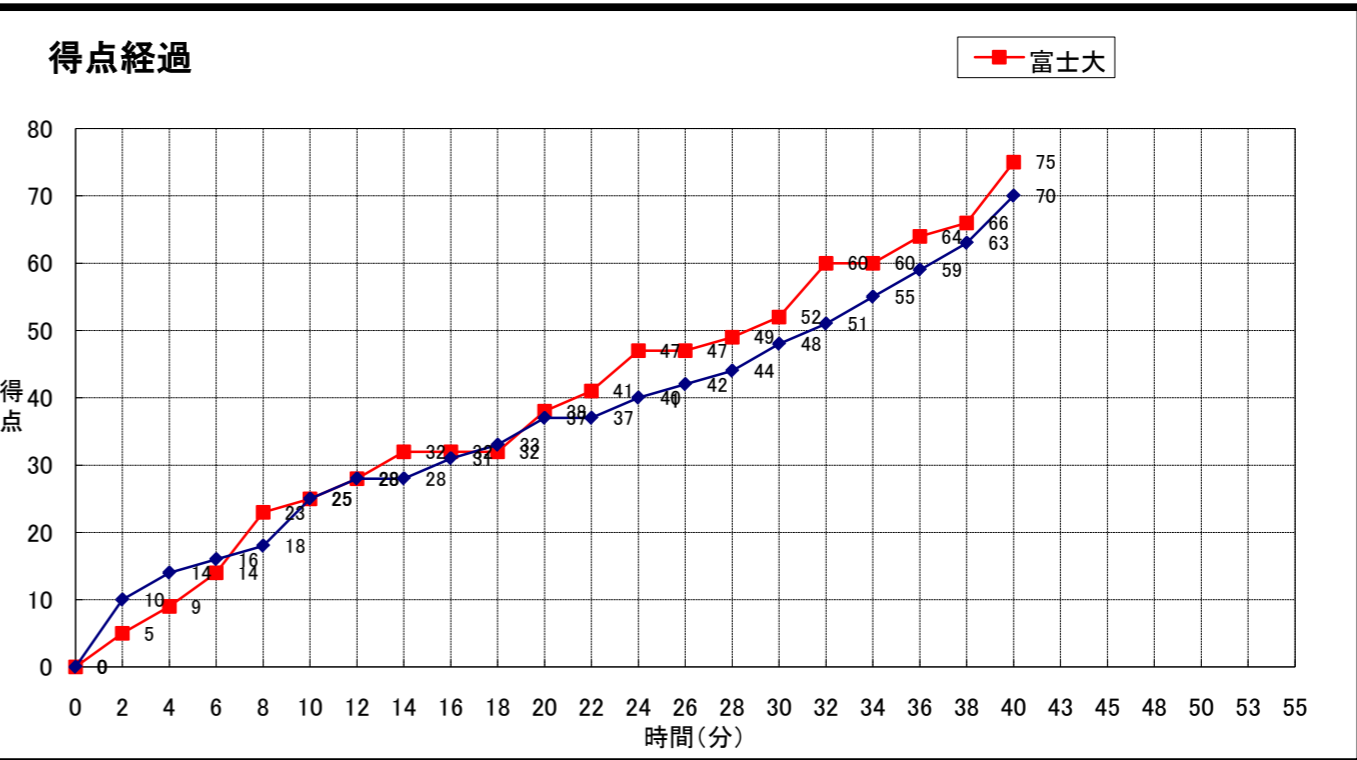
大会名称: 第11回東北大学バスケットボールリーグ

開催場所: 岩木山総合公園体育館
試合区分: No. 11A 2次リーグ コミッショナー: 佐々木桂二
期 日: 2010. 10. 11 主審: 丸谷 浩基
開始時間: 10:00 副審: 松岡 隆博
終了時間:

富士大 (1次リーグ3位)	○ 75	● 70	東北学院大 (1次リーグ4位)
	25 -st1- 25 13 -2nd- 12 14 -3rd- 11 23 -4th- 22 -OT1- -OT2- -OT3-		

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
5	*	古間木 杏奈	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	0	3	0	0	
1		八柳 友佳李	5	1	3	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
2	*	今野 里美	22	6	6	1	5	2	2	0	1	1	2	0	0	0	0	
3	*	桜田 しの	12	0	0	3	8	6	8	3	1	3	4	0	4	0	0	
8		高橋 美紗貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10		工藤 万智	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11		神山 佳奈	6	0	2	2	5	2	3	2	1	0	1	0	0	0	0	
12		深沢 かほり	7	1	3	2	3	0	2	3	0	0	0	0	2	0	0	
13		阿保 由香	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17		山本 奈々	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18		北嶋 恵理香	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21		千葉 はる花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	*	田村 梓	16	1	1	5	9	3	0	2	0	7	7	0	4	0	0	
86	*	菊池 亜寿沙	5	1	4	1	1	0	3	4	0	1	1	0	1	0	0	
0		高橋 美奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
TEAM		金 亨俊								0	1	8	9					
合計			75	10	21	16	34	13	18	15	4	22	26	0	14	0	0	0:00
						47.6%	47.1%	72.2%										

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
52		黒澤 彩香	8	0	0	4	7	0	0	1	1	2	3	0	0	0	0	
4		川崎 結衣	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
5		三浦 佳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7		大山 和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	*	山谷 美架	12	0	3	5	7	2	2	2	2	3	5	0	0	0	0	
9		庄子 理紗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10		齊藤 亜紗美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	*	岸田 麻里	15	0	0	7	20	1	2	2	0	4	4	0	1	0	0	
12	*	大須賀 梨奈	4	0	0	2	6	0	0	0	1	2	3	0	1	0	0	
13		阿部 有里子	6	0	2	3	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	
15		古川 絵梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	*	佐々 満理奈	14	3	5	2	7	1	2	0	1	3	4	0	1	0	0	
18		天野 紗智	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23		廣瀬 由紀子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
51	*	岩田 祥子	11	0	0	4	13	3	6	5	3	3	6	0	2	0	0	
TEAM		佐々木 桂二								0	3	5	8					
合計			70	3	12	27	64	7	12	14	11	22	33	0	6	0	0	0:00
						25.0%	42.2%	58.3%										



ゲームレポート

試合のまとめ
2次リーグ最終日の1試合目。1次リーグでは富士大が勝利している。富士大は終始フルコートディフェンスを続け、#11岸田・#12大須賀の両1年生を中心に高さのある東北学院大にプレッシャーをかけ続けた。結果、勝負どころで3Pが決まった富士大が75-70で東北学院大を退けた。前日の結果で、インカレ出場がなくなっていた両チームであったが、学生の試合にふさわしい緊張感の高い緊迫した試合であった。両チームともに来シーズンに期待したい。

第1ピリオド
先制点は富士大CAP#5古間木。東北学院大は#51岩田の両センター陣が得点。富士大はオールコートディフェンスでプレッシャーをかけるが東北学院大は突破し得点を重ねていく。残り富士大は#12深沢を投入し展開を変えようとする。すると#12深沢の3P、#23田村が得点し同点。富士大は#11神山が得点し突き放しにかかるが、残り20秒で、東北学院大#11岸田が連続で得点し、25-25 同点でピリオド終了。

第2ピリオド
富士大#2今野の3Pでスタート。互いにディフェンスが厳しくなかなか得点が動かず。富士大は#5古間木がベンチに下がるが、#3桜田を中心に高さのある東北学院大に守り続ける。#51岩田がバスケットカウントを決めリードするが、富士大は#1八柳の3Pが決まり 38-37で富士大がリードでピリオド終了。

第3ピリオド
出だしは富士大#2今野の3Pでスタート。富士大はアウトサイド、東北学院大はインサイドを中心に試合が進む。流れが悪いとみた東北学院大CAP#52黒澤にセンターを交代。さらに#13阿部も投入する。両者ともにコーチの期待にこたえ得点を決める。結果、52-48 で富士大リードでラストピリオドへ。

第4ピリオド
東北学院大#52黒澤の得点で2点差に詰め寄るが、富士大は#2今野の3Pで決め返す。#5古間木と#52黒澤の両チームのセンターが激しいポジション取りをみせるが、富士大は#2今野が3Pで10点差をつけたところで、東北学院大佐々木桂二コーチがタイムアウトを請求し立て直しをはかる。その後、富士大はゾーンディフェンスに変更するが、東北学院大は速い展開を見せから点数を縮める。残り30秒で東北学院大#11岸田が得点をし、3点差まで詰め寄るが、最後に富士大#12深沢が得点し試合終了。75-70で富士大が勝利した。(担当: 東北大学バスケットボール連盟 金道)

PST: ポイント M: 成功 A: 試投 %: シュート率 FG: フィールドゴール 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: トータルリバウンド TO: ターンオーバー AS: アシスト ST: スティール BS: ブロックショット MIN: 出場時間 S: スターター OT: 延長